

ブラジル特許出願の価値を上げるバックログの改善



アンドレ・ベンチュリーニ (André Venturini)

Global IP Brazil代表パートナー

ブラジル特許庁 (BRPTO) は、審査待ちの特許出願のバックログの多さで有名でした。特に特定の技術分野では、ブラジルで特許が付与されるまでに15年以上待たねばならないことも珍しくありませんでした。2019年にBRPTOは、このバックログに対応するため、同じ特許ファミリーの外国特許庁の審査結果を自らの審査の出発点として利用する計画を開始しました。この方策は大成功を収め、最大時147,217件に達した審査待ちの出願のバックログは、2025年には1,028件にまで減少しました。

最近BRPTOによって公開された新しいデータから、現存するバックログについてさらに深掘りしてみたいと思います。以下の数字は、2025年7月から9月の3か月間に発行された審査結果から算出されたものです。

表1は、BRPTOの各技術部門における特許出願の平均係属期間（年数）を示しています。係属期間－A列は、審査請求日から計算された係属期間です。係属期間－B列は、ブラジルにおける出願日から計算された係属期間を示しています。

表1 審査請求日および特許出願日からの平均係属期間（年数）

特許部門	係属期間－A	係属期間－B
高分子	2.2	3.4
繊維	2.3	3.5
冶金と材料学	2.3	3.5
土木工学	2.4	3.6
農薬	2.5	3.8
食品と農業	2.6	4.2
生活必需品	2.7	4.0
パッケージング	2.7	4.0